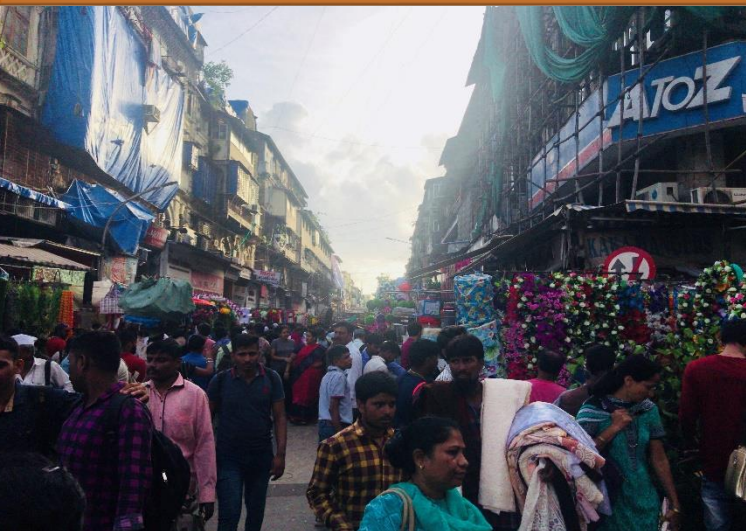


EMERGING INDIA CAMP

--Bringing Better Life to Indian Middle-Income Family --

インドの現場を体感し学ぶ1週間



インド市場の心をつかむ新商品・サービスアイデア創出 手法を学び、インドの巨大市場に挑戦しませんか？

人口12億人を超えるインド巨大市場は、消費者ニーズが地域、所得水準ごとに極めて多様かつユニークです。そんなインドでは、エンドユーザーの声を聞き、潜在的なニーズを捉えて、それに応える革新的な商品・サービスを開発することが、ビジネス成功のために重要となっています。

Emerging India Campは、インド有力企業(Godrej & Boyce Mfg Co. Ltd)で商品開発を牽引してきた経営幹部や、インド工業連盟(CII)経営者養成プログラムの専門家を講師に迎え、「**インド中間所得レベルの家庭のより良い暮らしを創造する**」ことをテーマに、新しい商品・サービス(日用品を含む)のアイデアを創出します。家庭訪問やマーケット調査、企業経営幹部等との交流を通じ、新しい発想を喚起し、インドでの事業構想力を醸成します。

2019年8月24日(土)～8月31日(土) 主催:インド工業連盟(CII)

後援:独立行政法人国際協力機構(JICA)

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)

開催地:インド・ムンバイ

定員:30名程度(最小催行人数12名)

言語:英語

参加費:3,500USD

(1社から3名以上の参加の場合、全員一人当たり3,000USD)

航空賃・宿泊・日当・保険等は別途掛かります)

申込期限:2019年7月19日(金)

申込方法:別紙の申込書を村田・稲葉宛に送付ください

(Murata.Mei@jica.go.jp, inaba.shigeko9@gmail.com)



Confederation of Indian Industry



JETRO

日本貿易振興機構(ジェトロ)

よくある視察調査の問題点

『百聞は一見に如かず』で現地に行ってみた

- ◆ ネットワークがないのでアポイントメントがうまく取れなかった
- ◆ 単に現地を視察しただけで終わってしまった
- ◆ 効率的に現地を回ることができなかった
- ◆ 現地の本当の声を上手く聞き取れなかった
- ◆ そもそもどうやってビジネスを開始したらいいか。。。



Emerging India Campでは、これらの悩みを解決すべく日印の関係者がアレンジし、サポートいたします。

Emerging India Camp 3つのポイント

インドの産業界との強力なネットワーク構築

8,500の企業・組合会員を擁し、インドの経団連ともいわれるインド工業連盟(CII)によって本プログラムは運営されており、講演・交流会等を通じてCIIや会員企業の経営幹部とのネットワークを構築することができます。



単なる現地視察ではなく、生の声を聴くことが出来る

インドの有名企業が実践している、インドにおける新商品・サービスの開発手法を、座学と現場視察・インタビューを通じて学ぶことが出来ます。本プログラムの中で、インドの家庭訪問やマーケット調査など、現地でのインタビュー・アンケート調査を通じ、インド中間所得層の生活の実態を把握した上で、新商品・サービスのコンセプトづくりを実践することが出来ます。

インド人ファシリテーターとの共同プログラム

座学におけるワークショップや、現場視察(家庭訪問やインタビュー実施等)を含む全てのプログラムは、CIIのインド人ファシリテーターと共同で行います。参加者は、インド人ファシリテーターと相談しながら、インドにおける新商品・サービスの開発手法を学ぶことが出来ます。

スケジュール(予定)

* 現地の天候、その他の状況による若干の変更可能性があります。

日程	プログラム	内容
8/24	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ムンバイ空港到着、宿泊施設到着 オリエンテーション、懇親会
8/25	ブリーフィング/講義	<ul style="list-style-type: none"> インド概要情報、JICAプロジェクト概要および手法に関するブリーフィング インド企業の事例紹介
8/26	講義/現地調査①	<ul style="list-style-type: none"> 観察手法に関する講義 グループおよびテーマの設定 一般家庭訪問およびインタビュー 高級ショッピングモール視察
8/27	調査分析/講義	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー結果の結果分析 Concept Creationに関する講義・演習 ムンバイ市内観光
8/28	ニーズ分析/現地調査②	<ul style="list-style-type: none"> インド大企業社員へのインタビュー ファッションマーケット視察 狩野モデルを活用した新商品開発に関する顧客ニーズ確認
8/29	商品コンセプト創出/現地調査③	<ul style="list-style-type: none"> 新商品・サービス開発に関するコンセプトづくり JETRO訪問 旧市街バザールの視察
8/30	プロトタイプ製作	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップにてコンセプトを纏め、プレゼンテーション準備 ゲストスピーカーによる講演(インド市場におけるトレンド)
8/31	発表	<ul style="list-style-type: none"> 創出したビジネスコンセプトの発表・フィードバック 閉会式 インド人卒業生とのネットワーキング ムンバイ空港出発、日本帰国



※赤字は、外での体験プログラム



プログラム概要

日時 2019年8月24日（土）から2019年8月31日（土） 現地7泊8日

開催地 ◆ 研修場所: CII-ゴドレッジ・センターオブエクセレンス
◆ 宿泊場所: Meluha The Fern An Ecotel (<https://hotels.his-j.com/HotelDetail/BOM00258.aspx>)

参加費用 ◆ 参加費(昼食込み): 3,500USD (参加費の支払い方法は、原則、事前の国際送金となります。)
◆ 宿泊費(朝食込み): 8,5000 ルピー + 税(18%)/泊(2019年3月の予約レート)
◆ 食事代(昼食・夕食)、ビザ代、保険代
◆ 国際・国内航空料金
◆ 海外旅行保険費用
◆ ※上記は参加者負担とし、研修センターとホテル間の送迎はJICAが提供します

対象者 ◆ 自社でインドビジネスを推進していくことが期待される方々(特にBtoCビジネス)
◆ 海外事業部門(インド)、商品開発部門、新規事業部門、現地・在外拠点など。

応募要件 ◆ 日本国籍を持つもの、もしくは日本に在留資格のある者
◆ 2年以上の職務経験
◆ ビジネス英語の理解力

人数 30名

問合せ ◆ JICA 産業開発・公共政策部民間セクター 村田 芽
Tel: 03-5226-3458 | Murata.Mei@jica.go.jp
◆ JICA インド事務所 江原由樹
Tel: +91-11-4909-7000 | Ehara.Yoshiki@jica.go.jp
◆ インド工業連盟(CII) 稲葉滋子
Tel: +91-7428414638 | inaba.shigeko9@gmail.com

申込方法 別紙の申込書をご記入の上、上記の村田・稲葉宛にメールでご提出ください。
お申込期限: 2019年7月12日(金)

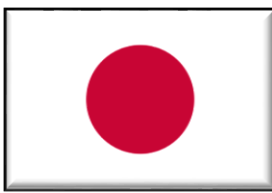
前回参加されたお客様の声

BtoBメーカーS社 ご担当者様(グローバル市場開発部)

当社は基本的にBtoBビジネスのため最終消費者の声を聞く機会が少ないのだが、インドの消費者に直接コンタクトできた。また、このキャンプで学習した現場を観察し、そこで見つけたものをロジカルに分析しビジネスアイデアを構築する手法は、当社の目指す現場主義に繋がりが勉強になりました。

包装資材製造メーカーF社 執行役員様(東南アジア地域事業統括)

インド工業連盟のプロフェッショナルな講師が、7日間も専属に教えてくれたことは非常に貴重な経験と学習になりました。講義と体験による学習効果は深く理解することに繋がったと思います。インドの消費者との交流もめったにできない経験でした。



よくあるご質問



Q：進出先をまだインドに決めた訳ではないのですが、参加しても大丈夫でしょうか？

A：エンドユーザーの声を踏まえた新商品・サービスの開発手法を学ぶプログラムであるため、インドだけではなく、他国においても応用可能です。

Q：航空券やホテルの手配はどちら側でするのですか？

A：航空券は参加者自身でご手配いただくこととなります。ホテルの予約手配はCII側で実施します。支払いについては、参加者負担となります。

Q：出発は東京からに限定されていますか？

A：原則現地集合、現地解散で特に限定はしておりません。ムンバイ到着時間を含めてフライトについては相談させていただきます。

Q：現地での英語に問題があるため通訳の手配は可能でしょうか？

A：通訳の手配は不可です。また、原則日本人のスタッフが同行しますが、通訳としての役割はしておりません。プログラムは基本的に英語となりますので、ビジネス英語の理解力（TOEIC700点程度以上）が求められます。

Q：現地日程について、個別な対応をお願いすることができますか？

A：原則、全参加者共通のプログラムであるため、個別対応はしていません。体調不良等のやむを得ない理由を除き途中からの参加もしくは一部日程だけの参加ではなく、全日程への参加が前提となっております。

Q：インドの情勢および安全管理についてはどうなっていますか？

A：隣国スリランカでの爆破テロを機会にインド政府もセキュリティ強化を実施しています。また現地大使館の治安情報とともにJICAインド事務所が独自に入手する治安情報を含めて、しっかりとした安全管理を実施しています。

Q：インド工業連盟（CII）の持つ企業ネットワークとは？

A：インド工業連盟は、産業界主導の元で120年以上前に設立された経済団体であり多数のインド有力企業の会員を有しています。また、JICAの製造業育成プロジェクトを共同で実施しており、親日を通り越し、日本企業の文化・風習や商習慣を理解した有力企業を抱えています。こうした企業への直接的なインタビューや、今後の事業活動のパートナーシップの構築は、インドビジネスを目指す皆さまのお役に立てるものと考えております。

日時 • 2019年6月13日(木) 10:30-12:00 (10:00受付開始)

• JICA本部 113会議室
(千代田区二番町5-25
二番町センタービル)



場所

• JICA本部 113会議室
参加が
ご希望の方は、申込時に
ご連絡をお願いします。

<https://www.jica.go.jp/about/structure/domestic/index.html>

申込方法 • 次の宛先までメールにてお申込み <Kadaishien_chosei@jica.go.jp>
• 申し込み期限 6月11日(火)

参加費 • 無料

プログラム運営団体



Confederation of
Indian Industry

主催 **インド工業連盟 (CII)** <http://www.cii.in/>

1895年に設立され8,500の企業・組合員と、地域・セクター別の組合に加盟する20万を超える間接的な会員企業を擁しています。

後援 **国際協力機構 (JICA)** <https://www.jica.go.jp/india/index.html>

政府開発援助の実施機関であるJICAは、2007年より製造業経営幹部育成支援プロジェクトを支援し、現地企業の新商品開発を含む事業構想力の醸成に取り組んでいます。

協力 **日本貿易振興機構 (JETRO)** <https://www.jetro.go.jp/>

貿易・投資促進と開発途上国研究を通じ、日本の経済・社会の更なる発展に貢献することを目指し、70カ所を超える海外事務所を有し、8,500の企業・組合員と、地域・セクター別の組合に加盟する20万を超える間接的な会員企業を擁しています。

協力 **大阪商工会議所** <http://www.osaka.cci.or.jp/>

大阪と海外とのビジネスをつなぐ「窓口」となり、大阪企業のグローバル展開に役立つビジネス情報・商談機会の提供のほか、外国企業の大阪誘致も行い、双方向の交流を進めています。

